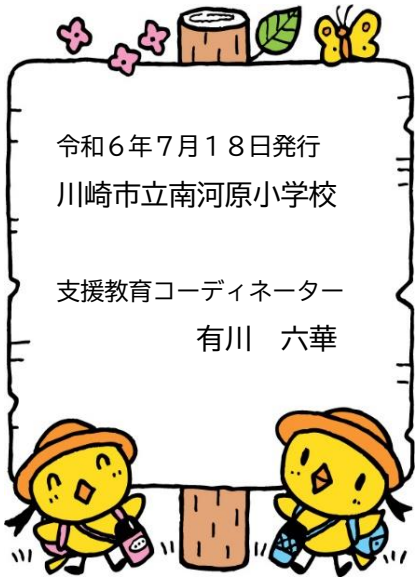
川崎市立南河原小学校

コーディネーターだより

令和６年７月１８日発行
川崎市立南河原小学校

支援教育コーディネーター
有川　六華



７月とは思えない、うだるような暑さが続いています。今年の梅雨はあまり雨も降らず晴天の日が続きました。７月に入り、やっと梅雨らしくなり曇り空や雨の日も増えてきました。

子どもたちは暑くても外で遊びたいようで、朝の時間も校庭に出て遊んでおり、朝から汗だくです。最近では熱中症の心配もあり、ＷＢＧＴ指数（暑さ指数）を確認しながら校庭遊びや体育の学習の実施の可否を決めています。晴れていても校庭で遊べない、暑いのに水泳もできないという日もあり、子どもたちとしては「なんでだろう…」と不満顔です。

何はともあれ、汗びっしょりの子どもたちです。汗を拭くタオルやハンカチのご用意をお願いします。体を冷やすグッズも大切ですが、汗をそのままにしない、ということも衛生面・健康面で大切なことです。ぜひご協力お願いします。安全に健康に、暑い夏を乗り越えていきましょう！

伝え方の難しさ

４月から３カ月がたちました。小さなトラブルの話を担任と一緒に聞くことが何度かありました。いずれも、伝え方にすれ違いがあり勘違いや思い込みからトラブルに発展していました。南小の子は素直に話をすることができるなぁ、と感心します。中には、「ぼくの言い方がわるかったかもしれない、ごめんね」と自分から謝ることができる子もいて、感動したこともあります。

１クラス３０人の中で、気の合う人もいれば「ちょっと合わないな」と思う人もいるかもしれません。その人たちとけんかをしたり、いがみ合ったりするのではなく、少し距離をおくことで相手の良さが見えてくることもあります。トラブルがないことなんてありません。トラブルが起きることがいけないのではなく、どうしてそうなったのか原因を解明すれば、同じ間違いをしない=トラブルが起こらない=安心した学校生活を送ることにつながります。相手への伝え方、おうちでも話題にしてみてください。

子どもの話を聞いていると、自分に都合のいい話を１番先にします。おうちではどうでしょうか。でも「どうしてそうなったの？」と聞いていくと、実は自分がきっかけを作っていた、なんてこともあります。「〇〇された」という話がもし出たら、まずは嫌だった気持ちを共感してあげてください。その後、どうしてそれが起きたのかを聞いてあげて下さい。そして本当のことを話す大切さをおうちでも伝えていってほしいと思います。

♡今月のほっこり話♡

１年生のあさがおがぐんぐん伸びています。つるも伸びて葉っぱも手のひらより大きくなり、花が咲いている子もいました。雨の中、水やりをしている姿が微笑ましいです。